

浄化槽用バクテリア製剤 ロービックK-57JD




ロービックK-57JDは米国で60年以上の販売実績がある浄化槽用のバイオ製剤です。有用バクテリアが浄化槽内の汚物やペーパーなどを水と二酸化炭素に分解し、悪臭を防止します。浄化槽の機能を回復させることで、浄化槽の水質が安定し、維持管理費の削減にもつながります。浄化槽に初めて使用する場合は初期処理としてK-57JDを投入し、その後は保守管理としてK-37JDを定期的にご使用ください。

○初期処理用 ロービック K-57JD ○保守管理用 ロービック K-37JD

提案先	一般家庭、飲食店、宿泊施設、商業施設、食品加工場など
用途	浄化槽の機能回復、消臭
外観、香り	白濁液体、かすかな土壌臭
成分、液性	成分／バクテリア 液性／中性
メリット	○浄化槽の機能を回復し、ニオイや詰まりを防止 ○浄化槽の水質が安定し維持管理費の削減につながる ○マンホールを開けることなくトイレから流すだけで投入が簡単
使用方法	1.ボトルをよく振り、『K-57JD』をトイレから本品を注ぎ、その後水を2回流してください。投入は就寝前やお出かけ前など水の流れない時間帯に行ってください。 2.浄化槽の状態が完全された後は、安定した状態に保つためメンテナンス用のK-37JDを年に3～4回または必要に応じ使用してください。
	目安使用量 浄化槽5人層の場合、1回につき946mlを1本使用

試験データ	第三者専門機関で安全性、有機物分解能力、雑菌抑制試験を実施済み	
他社品との違い	<u>他社品（一例）</u> ○単体のバクテリアを採用 ○バクテリアの性能が不明	<u>ロービックK-57JD</u> ○6種類の多品種バクテリア ○外部機関で有用性を検証済み

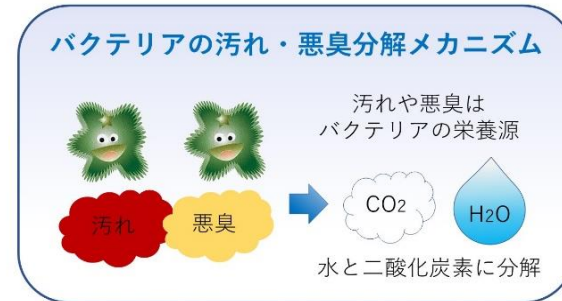
仕様

商品名	容量	入数	商品写真	JANコード	QRコード
ロービック K-57JD	946ml	12		4560 204 26027 4	
	4L	4		4560 204 26071 7	

内容成分

バクテリア

バクテリアは別名微生物とも呼ばれ、大きさは約1,000分の1ミリ（1マイクロメートル）の小さな生き物です。（人の毛髪の太さ（約0,1mm）のさらに100分の1の大きさ）・バクテリアは商品ボトルの中では、芽胞（殻）を形成し、休眠状態で保存されていますが、水や栄養源（汚れ）に触れることにより目を覚まし活性します。例えば、植物の種を土（栄養源）に植え、水をかけると殻を破り発芽するイメージです。・バクテリアは私たち人間が排出した汚れ（有機物）を栄養源として体内に取り込み、水と二酸化炭素に変えていきます。栄養源を得たバクテリアは15～20分後に一度細胞分裂を繰り返します。・バクテリアには酸素がないと活性しないタイプ（好気性）や酸素がなくても活性できるタイプ（嫌気性）が存在しますが、弊社のバクテリアは好気性及び通性嫌気性です。・バクテリアも生き物ですので、極度の低温、高温では活性しません。約5℃～60℃までが活性範囲です。



浄化槽とは

トイレ、台所、洗濯、お風呂などから排出された汚れた水を浄化し、河川などに放流する装置です。浄化槽には、バクテリアが定着しており、その働きにより汚物やペーパーなどを分解します。

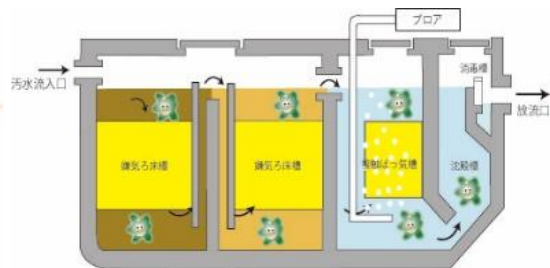
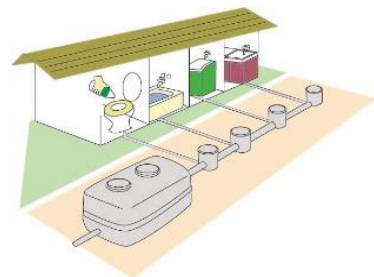
ロービックK-57JDはこんなお客様におすすめです

■ 浄化槽から悪臭が発生している

→浄化槽から発生する悪臭を分解消臭します。

■ 浄化槽の維持管理費を削減したい

→浄化槽の汚れを分解し浄化槽の水質を改善することで、維持管理費の削減につながります。



ロービックK-57JD Q&A

Q 浄化槽のトラブルとはどのようなことですか？

A 『トイレや洗面所付近もしくは浄化槽のマンホール付近から悪臭がする』、『マンホールから汚水があふれ出した』、『ウジ虫がコバエが発生した』など浄化槽を適切に管理しないとさまざまなトラブルが考えられます。

Q 浄化槽のトラブルの原因は？

A 以下のようなことが考えられます。①トイレトペーパーを一度に大量に使用した ②天ぷら油や調理くずが多く流れてしまった ③嘔吐物を流した ④洗剤、カビ取り剤、漂白剤、殺虫剤等を多く使用した ⑤ペットのフンを大量に流した ⑥フロア（送風機）が停止している ⑦しばらく清掃をしていない 等

Q 『K-37JD』と『K-57JD』の使い分けは？

A 初めて使用する時や悪臭などがひどい時は、K-57JDを使用します。その後症状が改善された後、定期的にK-37JDを使用します。状況にもより異なりますが、年に3～4回（季節ごと）が使用の目安です。

Q 浄化槽にバクテリア製剤『K-37JD』及び『K-57JD』を投入するメリットはどこにあるのですか？

A 元々浄化槽の中にもバクテリア（微生物）が存在しますが、有能なバクテリアを投入する事により、浄化槽の処理能力を高めることが可能となります。これにより、浄化槽の水質が安定し、維持管理費（清掃費用、メンテナンス費用）が削減され、環境にも貢献できます。